

# 第71期 決算のご報告

平成24年4月1日 ～ 平成25年3月31日



株式会社 **ナカノフード建設**

# 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日頃より当社グループの事業活動にご理解、ご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

ここに当社グループの第71期（平成24年4月1日～平成25年3月31日）事業環境、業績および取り組み等につきましてご報告申し上げます。

当社は、平成25年2月に創業80周年を迎えることができました。これもひとえに、皆様方のご愛顧の賜物と深く感謝いたします。新たに策定いたしました中期経営計画を確実に遂行し、創業100年に向けて磐石な収益基盤の構築に努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年6月

取締役社長 **浅井 晶**



## 当期業績概況

当連結会計年度は、米国の財政問題および欧州債務問題の長期化並びに新興国経済の成長鈍化など世界的に景気不透明感が続かなかで、わが国経済は政権交代に伴う経済政策の転換により、年度末にかけて円高の是正や株価の上昇が進んだものの、長引いた円高の影響もあり総じて低調に推移しました。国内建設市場においては、土木工事を中心とした復興需要が本格化しましたが、一方では慢性的な労働者不足が顕在化したことによる労務費の高騰などもあり、厳しい経営環境が続きました。

このような状況のなか、当社グループは国内では営業・工事が一体となり工事利益の改善に努めるとともに、海外では東南アジアに積極的に経営資源を投入し、収益基盤の拡大を

図ってまいりました。

これらの結果、当連結会計年度の業績は以下のとおりとなりました。

売上高は、建設事業1,153億63百万円（前期比68億98百万円増）に不動産事業他18億91百万円（前期比11百万円増）を合わせ、1,172億54百万円（前期比69億9百万円増）となりました。損益面におきましては、海外建設事業が堅調に推移した結果、営業利益は15億22百万円（前期比12億93百万円増）、経常利益は17億55百万円（前期比14億79百万円増）となりました。当期純利益は6億53百万円（前期比26億7百万円増）となりました。

## セグメント別概況

### ■建設事業

当社グループの受注高は、日本608億21百万円（前期比42億92百万円増）に、東南アジア521億45百万円（前期比74億76百万円増）を合わせ、1,129億67百万円（前期比117億68百万円増）となりました。

売上高は、日本647億52百万円（前期比65億3百万円減）に東南アジア506億11百万円（前期比134億2百万円増）を合わせ、1,153億63百万円（前期比68億98百万円増）となりました。また、日本と東南アジアを合わせた当期セグメント利益は8億62百万円（前期比12億65百万円増）となりました。

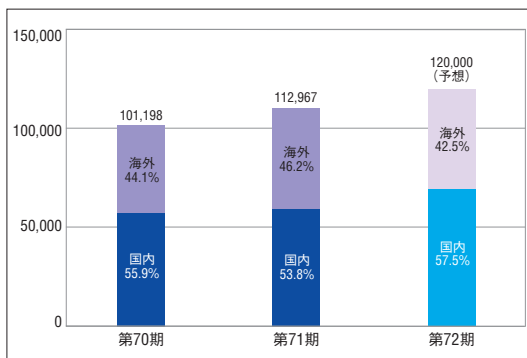
### ■不動産事業

賃貸事業を中心とする不動産事業の売上高は、日本16億13百万円（前期比24百万円増）に、北米2億48百万円（前期比10百万円減）を合わせ、18億61百万円（前期比14百万円増）となりました。また、日本と北米を合わせた当期セグメント利益は6億61百万円（前期比25百万円増）となりました。

## 業績推移

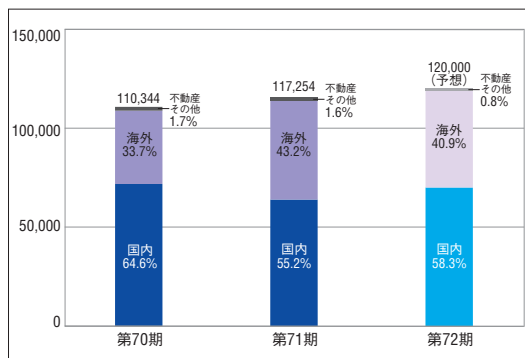
### ■連結受注高

（単位：百万円）



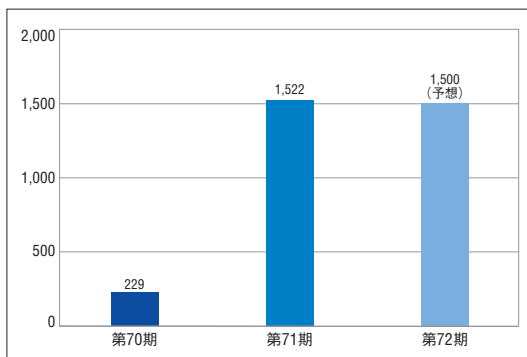
### ■連結売上高

（単位：百万円）



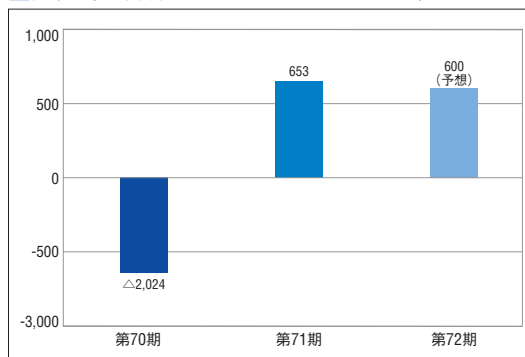
### ■連結営業利益

（単位：百万円）



### ■連結当期純利益

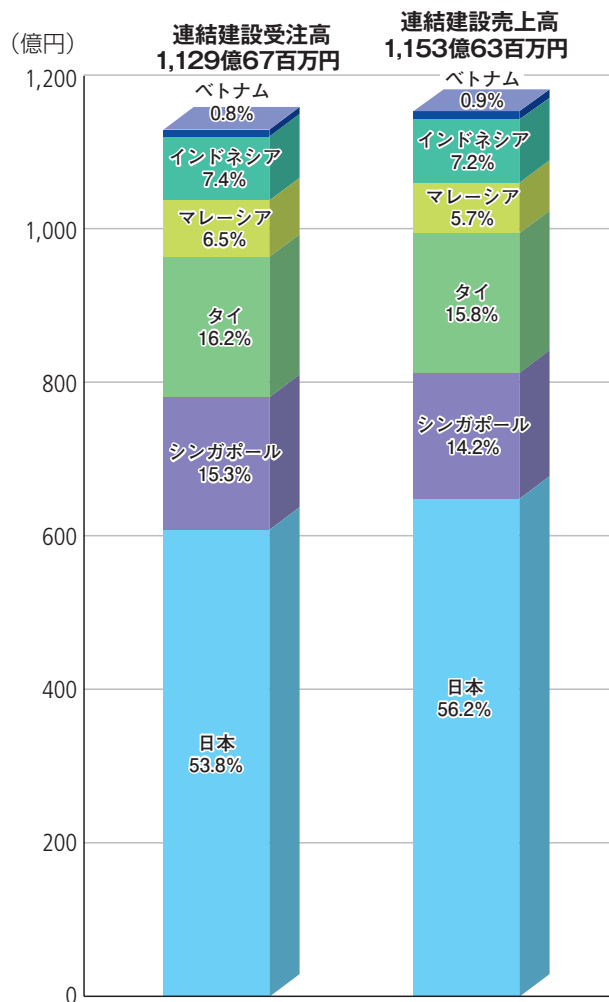
（単位：百万円）



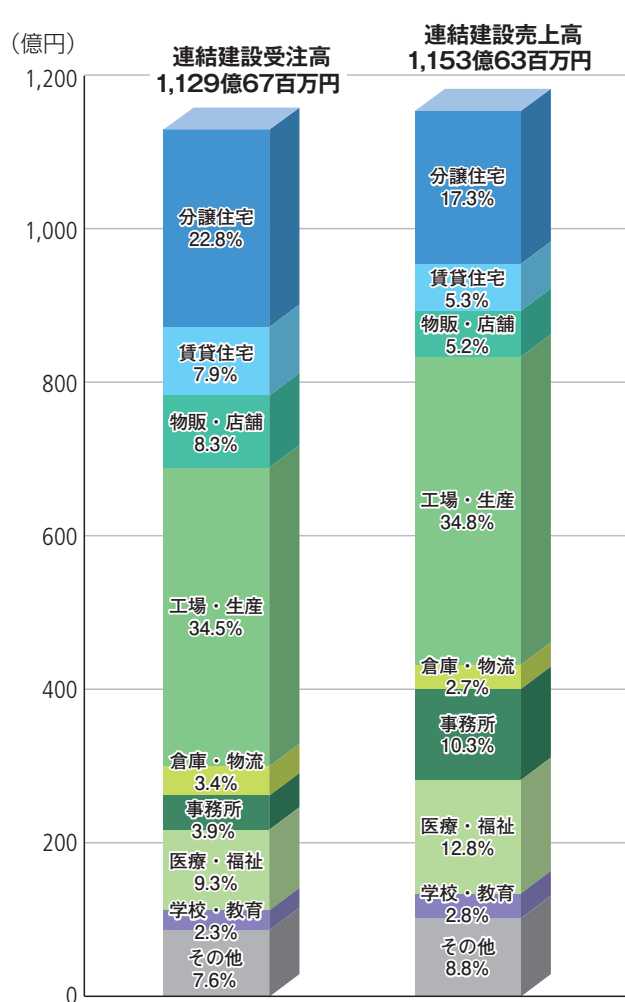
（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 建設事業概況

当事業年度における建設事業の内訳につきましては以下の通りとなりました。  
多様な用途の施工実績を背景とした技術力の高さをご評価いただいています。



地域別グラフ



用途グラフ

# 経営方針

## 経営の基本方針

当社グループは、本年2月に創業80周年を迎え、新たな経営の基本方針として「変化する市場環境に創意を以って即応、国内・海外の収益基盤を磐石にし、創業100年に向けて強靱な企業体質を構築する」を掲げ、国内外の各拠点による相互支援体制を強化し、営業と工事が一体となって、利益改善と品質確保に取り組むとともに、引き続きコンプライアンスを徹底した経営を堅持し、社是にある「我々は社業の発展を通して社会に貢献する」を念頭に行動してまいります。

## 対処すべき課題および中期経営計画の策定について

当社グループを取り巻く環境は、新政権のデフレ脱却政策などにより、景気回復への期待感が高まっております。建設市場は、国土強靱化計画に基づく社会資本整備などが政策として掲げられ、民間設備投資も緩やかな回復基調にありますが、人口減少や高齢化、厳しい財政事情、労務不足など、建設業界を取り巻く構造的な問題に変わりはなく、引き続き厳しい環境が続くものと思われまます。

このような状況のなか、新たに策定いたしました中期経営計画では、国内建設事業においては、受注力、施工力、現場力の強化を図り、受注確度と利益率を向上させるとともに、恒常的な労務不足に対応するため、積極的に工業化・省力化に取り組んでまいります。海外建設事業においては、業績が好調に拡大しておりますので、現在の業容を堅持する体制を一層強化し、日系企業の設備投資に加え、東南アジア各国の経済発展により広がる様々な用途や顧客層の拡大に対応してまいります。

今後も、厳しい経営環境が続くものと思われまますが、新たな中期経営計画を確実に遂行し、業績の向上を図ってまいります。

## 中期経営計画概要（平成25年4月～平成28年3月）

**変化する市場環境に創意を以って即応、国内・海外の収益基盤を磐石にし、創業100年に向けて強靱な企業体質を構築する。**

### 基本方針

- ① 国内建設事業の受注力、施工力、現場力の強化
- ② 海外建設事業の基盤強化
- ③ 人事制度の見直しと「多能社員」育成
- ④ 財務体質強化と安定配当

### 経営指標（平成28年3月期数値目標）

- ① 建設事業売上高合計1,200億円以上
- ② 連結営業利益22億円以上
- ③ 連結自己資本120億円以上
- ④ 株主配当6円（3円増配）



# トピックス

## 創業から80年の軌跡



創業者 大島義愛

平成25年2月に、当社は創業80周年を迎えました。これもひとえに、株主の皆様をはじめとする、多くの方々の長年の温かいご支援の賜物と心より感謝申し上げます。今後も創業100年に向けて、当社グループを挙げて一層努力してまいります。

2033年 創業100年へ



2010年 セントーマススイーツ

2013年 創業80周年を迎える

2006年 ベトナムに進出

2004年 不動建設株式会社の建築事業を譲り受け、商号を「株式会社ナカノフード建設」へ変更

1991年 商号を「株式会社ナカノコーポレーション」へ変更

1988年 タイに進出

1985年 インドネシアに進出

1982年 マレーシアに進出



1995年 シンガポール観光局庁舎

1975年 シンガポールに進出

1972年 東京証券取引所市場第一部に指定

1962年 東京証券取引所市場第二部に上場

1959年 所在地(千代田区九段北)に本社が完成し移転

1942年 「株式会社中野組」に組織を変更し、今日の当社の基盤を築いた

1933年 大島義愛、中野組石材店から分離独立し「中野組大島事務所」を開設



1949年 戸塚国営住宅

# トピックス

## 栄真池袋東口プロジェクト進行中！



東京都豊島区東池袋において栄真池袋東口プロジェクトが現在進行しております。本プロジェクトは、コミュニケーション型商業施設を目指し、池袋駅東口の発展と共に成長していく建物・施設を作り上げるというコンセプトを掲げています。

外観は、リーフ（葉脈）をモチーフに有機的なデザインを採用。内部は変化に富む立体的な構成になっており、豊かな表情を生み出す平面形状と、各階を繋ぐ吹き抜け空間が積み重なることで、進むごとに発見が生まれる工夫がされています。

また、集客スペースを適所に配置することで、お客様が自然と館内を回遊できる構成が特長で、1階は中央を通り抜け可能な通路を配置し、店舗へはエントランス以外にも道路からのアクセスを可能とするなど、利便性の高さにも配慮されています。

完成後は、食品や雑貨などの一般店舗が約35店、レストランフロアには約7店、そのほか上階には結婚式場の入店が予定されています。また、この土地では駐車場が営まれていたこともあり、地下1～4階に約100台の駐車場併設を計画しています。

建設現場の地下最深が-19.2mに及ぶため、掘削工事の際は周辺道路に影響が出ないように計測装置を使い、リアルタイムに計測しながら工事を行いました。また、3面が接道していることや敷地いっぱいの計画であるため、豊島区、警察、消防と協議を繰り返しながら周辺道路や歩行者にご迷惑をおかけしないよう細心の注意を払い、工事を進めています。

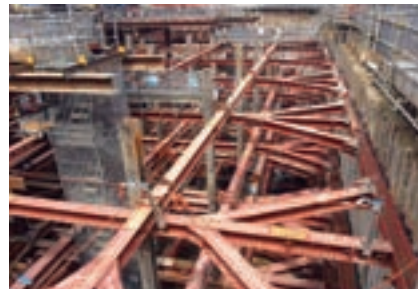
来店されるお客様が常に新しい発見をすることができ、くつろげる、飽きない商業施設を作りたい、池袋駅東口の新しいスポットになるよう色々な企画を用意してお客様を迎えたいという施主の想いを実現させるために、日々完成に向けて尽力しています。

### 【工事概要】

工事名	(仮称) 栄真池袋東口プロジェクト
発注者	株式会社MARO
設計	株式会社久米設計
施工	株式会社ナカノフード建設
竣工	2014年8月予定
規模	地下4階／地上8階 延床面積17,057.79㎡



変化に富む立体的な構成



建設現場の様子

# 施工実績紹介 (当期完成工事)

## 分譲住宅



(仮称) リビオ桃園公園北街区 I 期マンション新築 (福岡県北九州市)

構造: 鉄筋コンクリート造  
規模: 地上8階  
延床面積: 7,056.01㎡

## 事務所・倉庫



東北地方原料本部事務所等新築 (岩手県盛岡市)

構造: 鉄骨造  
規模: 地上2階  
延床面積: 19,162.19㎡

## 医療施設



一般社団法人巨樹の会赤羽リハビリテーション病院新築 (東京都北区)

構造: 鉄骨造  
規模: 1棟 地上6階/塔屋1階  
延床面積: 8,408.71㎡

## 工場・生産施設



プライフーズ株式会社三沢みどりの郷工場建設 (青森県三沢市)

構造: 鉄骨造  
規模: 地上2階  
延床面積: 9,443.50㎡



## 公共施設



横浜地家裁横須賀支部庁舎新営建築（神奈川県横須賀市）

構造：鉄筋コンクリート造  
規模：地上5階  
延床面積：5,795.30㎡

## リニューアル



(仮称) ポートレース江戸川ホール雅改修（東京都江戸川区）

構造：鉄骨鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）、鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）、鉄骨造  
規模：3棟 地上8階、地上8階、地上5階  
延床面積：24,750.77㎡

## 工場・生産施設



市光工業工場新築（タイ）

構造：鉄筋コンクリート造  
規模：平屋建（一部2階建）  
延床面積：21,986㎡

## ホテル・事務所



チャンギビジネスパークホテル棟・オフィス棟新築（シンガポール）

構造：鉄筋コンクリート造  
規模：（ホテル棟）地上12階（オフィス棟）地下1階／地上9階  
延床面積：（ホテル棟）21,000.00㎡（オフィス棟）85,000.00㎡

# 受注実績紹介

## (仮称) センチュリー宇都宮新築〈1期〉



スタイリッシュな空間、美しい外観デザインとともに、永きに渡り安心・安全な暮らしをめざす免震高層分譲住宅。

発注者 株式会社飯田産業  
竣工 2014年4月予定  
構造 鉄筋コンクリート造  
規模 1棟 地上19階・塔屋1階  
延床面積 8,837.76㎡  
場所 栃木県宇都宮市

## 京都工芸繊維大学松ヶ崎学生館整備事業



「周辺の街並みに調和し、地域の景観形成に資するような施設づくり」と「生活しやすい住まいづくり」を目指した日本人学生と留学生等の交流促進の学生宿舎。

発注者 株式会社ジェイ・エス・ビー  
竣工 2013年6月予定  
構造 鉄筋コンクリート造  
規模 地上5階  
延床面積 9,550.84㎡  
場所 京都府京都市

## パームアイズ Condominium 新築



ファミリー向け、若者向け、戸建風タイプと異なるコンセプトを持つ全12棟で構成され、26,800㎡の敷地に多様な生活空間を提供する緑豊かなリゾート感覚コンドミニアム。

発注者 フレイザーズセンターポイント  
竣工 2015年8月予定  
構造 鉄筋コンクリート造  
規模 12棟 地上5・6・7階  
延床面積 68,000㎡  
場所 シンガポール

## イオン クライ店新築



シンガポールと隣接し、発展の目覚ましいジョホール州に地域密着型として建設される大型ショッピングモール。

発注者 イオンマレーシア  
竣工 2013年10月予定  
構造 鉄筋コンクリート造  
規模 地上3階  
延床面積 85,821㎡  
場所 マレーシア

# 連結決算概要

## 連結貸借対照表 (単位：百万円)

項目	当期	前期
	(平成25年3月31日現在)	(平成24年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	54,881	47,146
固定資産	17,045	18,691
有形固定資産	13,567	15,456
無形固定資産	140	123
投資その他の資産	3,337	3,111
<b>資産合計</b>	<b>71,927</b>	<b>65,838</b>
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	56,677	52,241
固定負債	3,684	3,886
負債合計	60,362	56,127
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	11,944	11,395
資本金	5,061	5,061
資本剰余金	1,400	1,400
利益剰余金	5,511	4,961
自己株式	△28	△27
その他の包括利益累計額	△956	△2,071
その他有価証券評価差額金	336	140
為替換算調整勘定	△1,292	△2,211
少数株主持分	576	386
純資産合計	11,565	9,710
<b>負債純資産合計</b>	<b>71,927</b>	<b>65,838</b>

## 連結損益計算書 (単位：百万円)

項目	当期	前期
	(自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)	(自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)
売上高	117,254	110,344
完成工事高	115,363	108,464
不動産事業等売上高	1,891	1,879
売上原価	111,262	105,271
完成工事原価	110,188	104,180
不動産事業等売上原価	1,074	1,090
売上総利益	5,992	5,073
完成工事総利益	5,175	4,284
不動産事業等総利益	816	789
販売費及び一般管理費	4,470	4,844
<b>営業利益</b>	<b>1,522</b>	<b>229</b>
営業外収益	418	226
営業外費用	185	179
<b>経常利益</b>	<b>1,755</b>	<b>275</b>
特別利益	1,400	11
特別損失	911	428
<b>税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失 (△)</b>	<b>2,245</b>	<b>△141</b>
法人税、住民税及び事業税	1,373	480
法人税等調整額	141	1,317
少数株主損益調整前当期純利益又は 少数株主損益調整前当期純損失 (△)	731	△1,939
少数株主利益	77	85
<b>当期純利益又は当期純損失 (△)</b>	<b>653</b>	<b>△2,024</b>

## 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)

項目	当期	前期
	(自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)	(自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,167	△2,462
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,502	△1,371
財務活動によるキャッシュ・フロー	274	△603
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,182	△88
現金及び現金同等物の増減額	7,126	△4,525
現金及び現金同等物の期首残高	15,026	19,552
現金及び現金同等物の期末残高	22,153	15,026

## 連結株主資本等変動計算書 (単位：百万円)

当期 (自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)

	株主資本					その他の包括利益累計額			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の包括 利益累計額合計		
平成24年4月1日残高	5,061	1,400	4,961	△27	11,395	140	△2,211	△2,071	386	9,710
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△103		△103					△103
当期純利益			653		653					653
自己株式の取得				△0	△0					△0
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額 (純額)						196	919	1,115	189	1,304
連結会計年度中の変動額合計	—	—	550	△0	549	196	919	1,115	189	1,854
平成25年3月31日残高	5,061	1,400	5,511	△28	11,944	336	△1,292	△956	576	11,565

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



# 個別決算概要

## 貸借対照表 (単位：百万円)

項目	当期	前期
	(平成25年3月31日現在)	(平成24年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	25,581	28,610
固定資産	19,291	19,835
有形固定資産	12,961	13,719
無形固定資産	130	116
投資その他の資産	6,199	5,999
<b>資産合計</b>	<b>44,872</b>	<b>48,445</b>
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	34,363	37,918
固定負債	3,328	3,568
<b>負債合計</b>	<b>37,691</b>	<b>41,486</b>
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	6,868	6,838
資本金	5,061	5,061
資本剰余金	1,400	1,400
利益剰余金	435	405
自己株式	△28	△27
評価・換算差額等	312	120
その他有価証券評価差額金	312	120
<b>純資産合計</b>	<b>7,180</b>	<b>6,958</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>44,872</b>	<b>48,445</b>

## 損益計算書 (単位：百万円)

項目	当期	前期
	(自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)	(自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)
売上高	67,385	73,911
完成工事高	65,807	72,381
不動産事業売上高	1,577	1,530
売上原価	63,990	71,137
完成工事原価	63,000	70,134
不動産事業売上原価	989	1,003
売上総利益	3,395	2,774
完成工事総利益	2,807	2,247
不動産事業総利益	588	527
販売費及び一般管理費	3,802	4,150
<b>営業損失 (△)</b>	<b>△407</b>	<b>△1,376</b>
営業外収益	1,667	695
営業外費用	179	178
<b>経常利益又は経常損失 (△)</b>	<b>1,080</b>	<b>△859</b>
特別利益	—	9
特別損失	909	391
<b>税引前当期純利益又は税引前当期純損失 (△)</b>	<b>171</b>	<b>△1,242</b>
法人税、住民税及び事業税	37	31
法人税等調整額	0	1,274
<b>当期純利益又は当期純損失 (△)</b>	<b>133</b>	<b>△2,548</b>

## 株主資本等変動計算書 (単位：百万円)

当期 (自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)

	株 主 資 本					評価・換算差額等 その他有価証券 評価差額金	純 資 産 合 計
	資 本 金	資 本 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自 己 株 式	株 主 資 本 合 計		
		資 本 準 備 金	そ の 他 利 益 剰 余 金 繰越利益剰余金				
平成24年4月1日残高	5,061	1,400	405	△27	6,838	120	6,958
事業年度中の変動額							
剰余金の配当			△103		△103		△103
当期純利益			133		133		133
自己株式の取得				△0	△0		△0
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額 (純額)						192	192
事業年度中の変動額合計	—	—	30	△0	29	192	222
平成25年3月31日残高	5,061	1,400	435	△28	6,868	312	7,180

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 会社概要

(平成25年6月27日現在)

商号	株式会社ナカノフードー建設
創業	昭和8年2月8日
設立	昭和17年12月19日
資本金	50億6,167万8,686円
従業員数	1,293名(連結) 737名(個別)(平成25年3月31日現在)
主要な事業内容	当社グループは、建設事業および不動産事業を主な内容として事業活動を展開しております。国内および東南アジアでは総合建設業を、北米では不動産事業を主として営んでおります。

## 主要な事業所

### 国内

本店	(東京都千代田区九段北四丁目2番28号)
東京本店	(東京都千代田区)
東北支社	(仙台市)
名古屋支社	(名古屋市)
大阪支社	(大阪市)
九州支社	(福岡市)
土木支店	(東京都千代田区)
台東支店	(東京都台東区)
北海道支店	(札幌市)
北東北支店	(八戸市)
茨城支店	(土浦市)
北関東支店	(さいたま市)
東関東支店	(千葉市)
横浜支店	(横浜市)

## 主要な子会社

### 会社名

### 事業内容

### 国内

中野開発株式会社(東京都千代田区)	不動産事業・その他の事業
-------------------	--------------

### 海外

ナカノインターナショナルCORP.(アメリカ)	不動産事業
ナカノシンガポール(PTE.)LTD.(シンガポール)	建設事業
ナカノコンストラクションSDN.BHD.(マレーシア)	建設事業
PT.インドナカノ(インドネシア)	建設事業
タイナカノCO.,LTD.(タイ)	建設事業
ナカノベトナムCO.,LTD.(ベトナム)	建設事業

## 取締役および監査役

取締役名誉会長	大島 義和
代表取締役社長	浅井 晶
取締役	安広 誠
取締役	中野 功一郎
取締役	加藤 頼宣
取締役	竹谷 紀之
常勤監査役	黒河 利秀
常勤監査役	菅谷 昭彦
監査役(社外)	佐藤 俊一
監査役(社外)	山谷 耕平

## 執行役員

取締役 専務執行役員	安広 誠(海外事業本部長)
取締役 常務執行役員	中野 功一郎(経理部担当)
取締役 常務執行役員	加藤 頼宣(経営企画部・業務監査部・総務部担当)
取締役 常務執行役員	竹谷 紀之(国内建設事業本部長)
専務執行役員	山下 登志治(大阪支社長)
常務執行役員	川口 法男 (ナカノシンガポール(PTE.)LTD.社長兼 ナカノコンストラクションSDN.BHD.会長兼 ナカノベトナムCO.,LTD.会長)
常務執行役員	下沖 洋一郎(名古屋支社長)
常務執行役員	坂元 直徳(九州支社長)
常務執行役員	服部 智(海外事業本部副本部長兼建設部長)
執行役員	小古山 昇(国内建設事業本部事業統轄部長)
執行役員	棚田 弘幸(東京本店長)
執行役員	多田 龍男(国内建設事業本部技術教育部長兼技術研究所長)
執行役員	長山 和行(大阪支社副支社長)
執行役員	梶谷 修(大阪支社副支社長)

# 株式状況 (平成25年3月31日現在)

## 株式状況

■発行可能株式総数 154,792,300株

■発行済株式の総数 34,498,097株

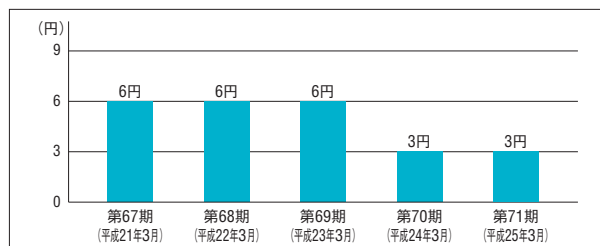
■株主数 4,560名

### ■大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
公益財団法人大島育英会	6,756	19.65
関東興業株式会社	3,600	10.47
大島 義和	3,080	8.96
株式会社マリンドリーム	2,000	5.82
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,647	4.79
株式会社MBサービス	1,200	3.49
有田 信子	1,170	3.40
ナカノ従業員持株会	949	2.76
ナカノ友愛会投資会	819	2.38
日本証券金融株式会社	374	1.09

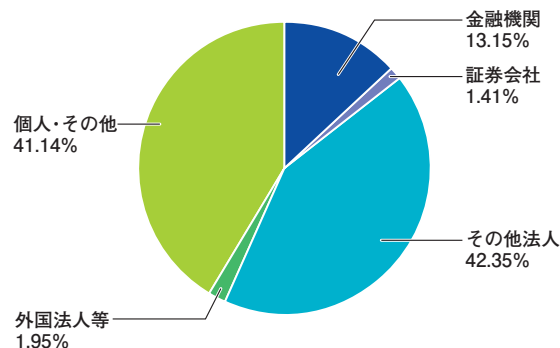
(注) 持株比率は、自己株式(116,435株)を控除して計算しております。

### ■配当の状況



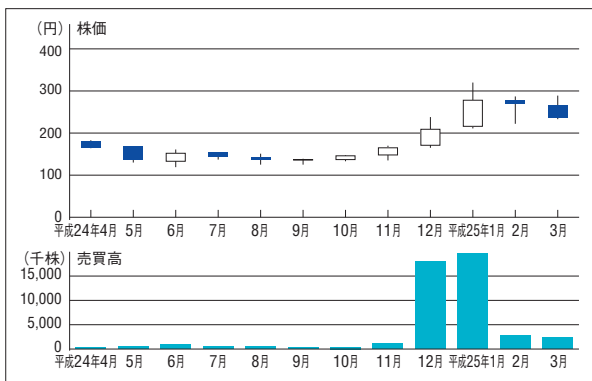
## 株式分布状況

### 所有者別分布状況



株式数	株数
金融機関	4,536千株
証券会社	486千株
その他法人	14,609千株
外国法人等	671千株
個人・その他	14,193千株

## 株価推移



## 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
  
- 定時株主総会 毎年6月下旬
  
- 基準日 毎年3月31日  
そのほか必要がある場合には、あらかじめ公告いたします。
  
- 単元株式数 500株
  
- 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社
  
- 同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
  
- (連絡先) 〒137-8081  
東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-232-711(通話料無料)
  
- 公告方法 日本経済新聞に掲載いたします。

### <表紙写真>

レイクサイドコンドミニウム (シンガポール)

## 株式会社 ナカノフドー建設

本店 〒102-0073 東京都千代田区九段北四丁目2番28号  
TEL 03 (3265) 4661  
ホームページ <http://www.wave-nakano.co.jp>

## ご案内

当社ホームページでは、株主・投資家の皆様向けのIR情報をはじめ、さまざまな情報を公開しておりますので、是非ご覧ください。



<http://www.wave-nakano.co.jp>



本報告書は植物油インクで印刷しております。  
ご不要の際は、ハリをはずし資源ゴミへ。